

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0006

住 所 川崎市川崎区砂子一丁目8番地1川崎室町ビル

氏 名 出光ルプテクノ 株式会社

代表取締役社長 増田 和久

0

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	出光ルプテクノ株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区砂子一丁目8番地1 川崎室町ビル		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	17	石油製品・石炭製品製造業
主たる事業 の内容	潤滑油の貯蔵・製造・出荷		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,844	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019年度～2021年度 (報告年度2019年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2018 年度)	(2019 年度)	(年度)	(年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 4,000	(実) 3,465	(実)	(実)	(実) 4,164
	(調) 4,777	(調) 3,944	(調)	(調)	(調) 5,009
削減率		(実) 13.4 %	(実) %	(実) %	(実) -4.1 %
		(調) 17.4 %	(調) %	(調) %	(調) -4.9 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

	製造数量				原単位等の単位	t-CO2/千kℓ
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度		
	(2018 年度)	(2019 年度)	(年度)	(年度)		目標とした値
排出量原単位等の値	21.91	20.59				21.26
活動量の値	181.1	168.3				-
排出量原単位等の削減率		6.0 %	%	%	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	計画年度より製造数量が△7%減少した。削減の根幹としては、製造数量の減少に追従して相対的排出量が削減したと捉える。一方でコンプレッサーを更新し制御及び運転方法の改善を実施している。結果として能力換算で5.5% (△1.94 t-CO2) の削減を達成することができた。照明LED化においては、54台のFLR40W×2をLED灯 (定格消費電力41W品) へと更新 (△1.67 t-CO2) した。
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>【01-02-02】 エネルギー使用量等の把握・計測・記録の管理 ・令和1～2年でコンプレッサーの更新を予定しており、その一環で監視PCの導入を実施する。 【06-01-06】 コンプレッサーの新設における措置 ・令和1～2年からでコンプレッサーを更新する。その際は回転数制御機を導入し、変流量システムを採用する。 【26-01-03】 照明設備の更新における措置 ・本館エリアの照明をLEDへ更新する。※時期・台数は現状未定。</p>
<p>第1年度</p>	<p>【01-02-02】 エネルギー使用量等の把握・計測・記録の管理 ・令和1～2年でコンプレッサーの更新を予定しており、その一環で監視PCの導入を実施する。 →定格50KW定速機を定格75KWのINV機へ更新。 【06-01-06】 コンプレッサーの新設における措置 ・令和1～2年からでコンプレッサーを更新する。その際は回転数制御機を導入し、変流量システムを採用する。 →台数制御盤を導入し、制御方法を更新。 【26-01-03】 照明設備の更新における措置 ・本館エリアの照明をLEDへ更新する。※時期・台数は現状未定。 →調合充填棟のFLR40W：54台をLED灯具（定格41W）へ更新。</p>
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 （第3年度の報告時に記載）</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	
第1年度	
第2年度	
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<p>所内の省エネルギー対策として、安全衛生環境委員会を立ち上げた。この委員会を通じて、エネルギーの運用ルールの策定、動向監視、施策立案・実行を実施している。また、当議事録を社内サイトへ掲示し、社員への意識付け・向上を目指している。</p> <p>【01-02-01】 (3) 主要設備等の管理標準を定期的に見直し、改善を図る。 【01-01-01】 (6) 温室効果ガスの排出の抑制に対する情報の周知。 【01-02-01】 (4) 設備単位によるきめ細かいエネルギー管理等を徹底。 具体的には、コンプレッサーとボイラー。</p>
第1年度	<p>所内の省エネルギー対策として、安全衛生環境委員会を月1回定例開催実施。以下の項目を随時議題として現状報告をして周知・把握に努めた。</p> <p>【01-02-01】 (3) 主要設備等の管理標準を定期的に見直し、改善を図る。 【01-01-01】 (6) 温室効果ガスの排出の抑制に対する情報の周知。 【01-02-01】 (4) 設備単位によるきめ細かいエネルギー管理等を徹底。 具体的には、コンプレッサーとボイラー。</p>
第2年度	
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量	4,000 t-CO ₂	3,465 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー使用量	1,870 KL	1,844 KL	KL	KL
事業所の数	2	2		

(2) 事業所等单位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
出光興産京浜ルプセンター	川崎市川崎区水江町6番2号	3,942	3,405		

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度